

令和3年度第1回コミュニティ・スクール委員会議結果（要旨）

開催日時	清水。御影 CS 委員会：令和3年4月27日(火)午後7時40分～午後8時45分
開催場所	清水・御影 CS 委員会：清水町文化センター大集会室及び会議室2
委員出席者	清水 CS 委員 宮城委員、森委員、葛西委員、伊藤委員、中村委員、薩摩委員、石井委員、横山委員、下坂委員、松橋委員、近藤委員 御影 CS 委員 米光委員、水野委員、田代委員、久野委員、野田委員、田中委員、細田委員、谷口委員、森委員
教育委員会	清水・御影 CS 委員会：三澤教育長
事務局出席者	清水・御影 CS 委員会：大尾学校教育課長、安ヶ平社会教育課参事、本田同課参事、山下教育指導幹、橋本教頭、平野教頭、津田教頭、宮崎教頭、田代教頭、休宮教諭、樋口教諭、木下教諭、和泉教諭、上出 CS コーディネーター
議題・諮問内容	(1)委員長及び副委員長の決定について (2)令和3年度の各学校等の経営方針について (3)しみず「教育の四季」取組の今年度の重点について (4)その他
会議結果	(1)委員長及び副委員長を決定しました (2)令和3年度の各学校等の経営方針について承認しました (3)しみず「教育の四季」取組の今年度の重点について熟議しました
出された主な意見等	<p>〈清水・御影〉</p> <p>【学校運営協議会（CS委員会）委員の任命】 教育長より各 CS 委員会代表に交付し、その後、学校教育課長より各委員に手交する</p> <p>【委員長及び副委員長の決定】 委員会規則により本年度は両小学校 PTA 会長に委員長として決定 副委員長は委員長指名により清水 CS 委員会は宮城委員に、御影 CS 委員会は田中委員に決定</p> <p>【説明・協議事項】 合同会議は CS コーディネーターが議事進行</p> <p>(1) コミュニティスクール（学校運営協議会制度）について 学校教育課長より資料に基づき制度を説明</p> <p>(2) 各学校等の経営方針について（各学校等から説明） 第1回しみず「教育の四季」推進協議会における説明を CS 委員会説明とする。 清水幼稚園長、清水・御影小学校長及び清水・御影中学校長から本年度経営方針を『各校のめざす姿「企画編」』を用い説明あり。 清水及び御影に分散した後に各 CS 委員会において、全委員からの承認を得た。</p> <p>(3) しみず「教育の四季」取組の今年度の重点について しみず「教育の四季」12の窓のシートを参照し、社会全体で子供たちを育むための家庭・学校・地域が年間を通し特に重点として取</p>

り組むべき事項について討議する。

清水 CS 委員会は 3 分散会、御影は 2 分散会で討議し、大集会室にて全体発表を行う。

清水 A 班

家庭	学校	地域
スマホのルールを決める。 自分で切る時間や場所、 親も子どもとの会話時にはいじらない等。	ICT 活用ルールの徹底	毎月 19 日の読書の普及。
読書感想文を ICT で入力・発信・活用する姿をほめる。		

清水 B 班

家庭	学校	地域
「してあげる」のではなく「させる」。 幼児期から子供たちに「何したい」を心がける。 すぐルールを引かない。	ICT によって子供たちの世界を広げる。 「顔の見える」人との交流や話し合い。 ICT スキルの習得と活用として家庭や地域のために使う場面を想定した授業。	学校と連携して体験の場を生み出していく。 家庭や学校で学んだことを生かしながら、ちょっとだけ広い(これまでとは違う世界)で、社会のマナーやルールといった常識を学ばせる。
自分から目的を持って行動させる場づくりを意識して、それぞれが行う。 自分たちで考えさせる。ときには失敗もさせる。		

清水 C 班

家庭	学校	地域
家庭でのあいさつ、マナーといった基本的な態度をしっかり身に付けさせる。 一日頑張れるように朝ご飯をしっかりとる。	発表の機会や様々な体験をさせることにより表現力や個性、自信をつけさせるための授業の工夫。	コロナ禍で関わりにくくなっているが、学校の情報を地域に伝えることや様々な機会と関わるよう声をかけてほしい。 地域は学校のために協力したいと思

		<p>っている。 ボランティア登録により何ができるかをわかるようにする。</p>
<p>基幹産業である農業を生かし、清水の食材を食べ、ネットで生産過程を知ってもらうなど、家庭、学校、地域がそれぞれに関わることはできないか。</p>		
<p>御影 A 班</p>		
家庭	学校	地域
<p>コロナ禍なので、スポーツに重点を置いて健康を守る。心と体の健康を守る。家庭は基本的なことを補助していく。家庭内のコミュニケーション、日々の会話、家庭内のあいさつの定着が大事。</p>	<p>健康に重点を置いた取り組み</p> <p>家庭の取組を基に、社会性を高めていくことにつなげる。</p>	<p>スポーツを通じた協力</p> <p>社会性を高めるため、地域が学校とかわかっていく。サポートしていく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通してポイントを絞った取り組みを ・取り組むためには抽象的な言葉ではなくもっと焦点化すべき 		
<p>御影 B 班</p>		
家庭	学校	地域
<p>あいさつ重視 わが子を思えば集団を育て、環境を整える。このことが地域づくりにもつながる。</p> <p>気持ちの良いあいさつをしよう。 家庭でできる「3つのあ」</p>	<p>あいさつの指導。 ピンポイントを押さえての家庭への啓発。 「3つのあ」の指導</p>	<p>地域からの声かけ 回覧板で学校の取組を知る。 「3つのあ」への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来校時や道ですれ違ったときに率先してあいさつする。 ・地域に「教育の四季」の配布を。 ・子どもたちを見守る。
<p>全体を通して、「3つのあ」(あいさつ、ありがとう、あとかたづけ)の定着</p>		

出された意見は今後、事務局において検討のうえ一本化すること
の了承を全体会で得る。

(4) その他
特になし

しみず「教育の四季」推進協議会から全体を通し教育指導幹より閉会あ
いさつ。(20時45分)